

鳥羽志摩記者クラブ
加盟報道機関 各位

令和 6 年 7 月 1 日 (月)

【照会先】鳥羽市健康福祉課 健康係 担当：田畑、中村（孝）

Tel 0599-25-1185

鳥羽市医療 MaaS 車両お披露目セレモニーを開催します

鳥羽市では、医師が効率的に広範囲をカバーし、各地区の診療機会を増加させる取り組みとして、
①各地区と診療所を結ぶ患者移送 ②車両を用いたオンライン診療を組み合わせた「医療 MaaS
(Mobility as a Service) 実証事業」を昨年 12 月より取り組んでいるところです。

この度、鳥羽市独自の新たな車両を購入する運びとなりました。そのお披露目と事業進捗状況をご報告させていただく機会としてお披露目セレモニーを開催いたしますので取材等、よろしくお願いいたします。

- 日 時 令和 6 年 7 月 10 日 (水) 11 時 00 分～12 時 00 分頃
- 場 所 鳥羽市保健福祉センターひだまり (鳥羽市大明東町 2-5)
- 内 容 主催者挨拶 医療 MaaS 実証事業説明・進捗報告
新車両お披露目

※オンラインでの巡回診療をイメージできる新たなデザインや、昨年度からの
実証調査を踏まえた使いやすい配線等、鳥羽独自の車両となっています。

医療 MaaS 車両を使ったオンライン診療のデモンストレーション

【参考】実証事業概要

実施期間	令和 5 年 12 月 18 日～令和 8 年 3 月末 ※内閣府デジタル田園都市国家構想交付金活用
実施内容	多目的に活用できる車両を使った診療機会の拡充事業 ・石鏡地区・本浦地区・今浦地区から市立診療所への患者の移送 ・上記地区に停めた車両内における、市立診療所と結ぶオンライン診療
実施体制	実施主体：鳥羽市 委 託 先：MONET Technologies 株式会社 (実証の企画・運営、マルチタスク車両やシステムの提供) 再委託・支援企業： (医療機器支援) セコム医療システム株式会社、ウィーメックス株式会社 (車両管理・運行) 三重近鉄タクシー株式会社

鳥羽市医療MaaS実証事業

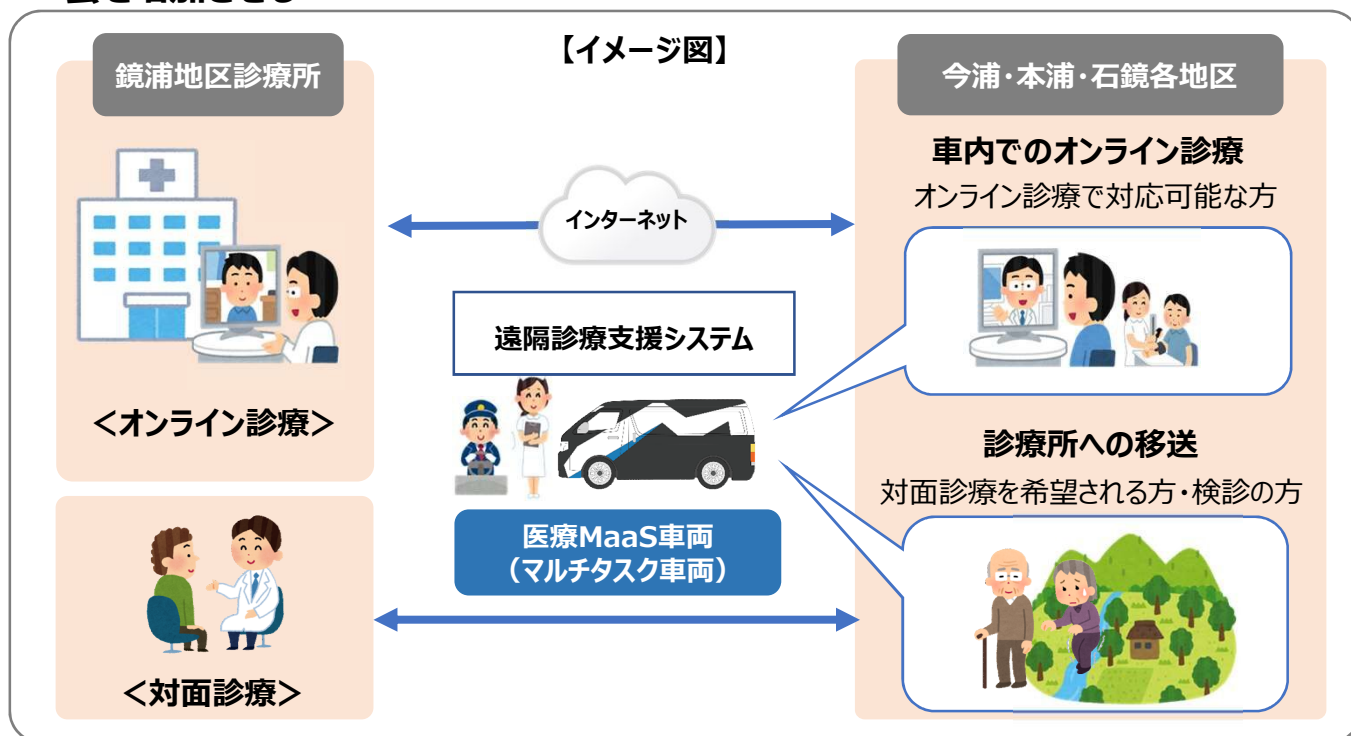
課題

- 鳥羽市鏡浦地区（浦村町・石鏡町）における人口減・医療コストの増大
- 現在は、医師が診療所間を移動して診療しているケースもあり、移動に時間を要するため、その分診療時間も短くなる
- 今後、医療人材不足が懸念されることから、効率的に医師が広範囲をカバーする検討をする必要がある

対応策

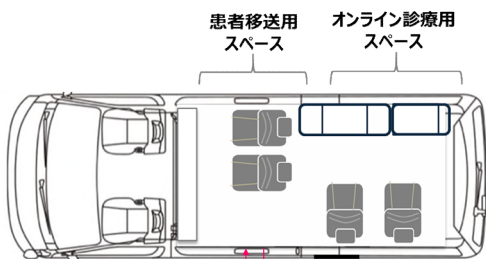
- 離島部を含めた市立診療所の医師によるチーム体制でオンライン診療の実施することにより、地域内の患者を診察する体制を再構築する
- 医療MaaS車両（マルチタスク車両）で診療所への患者送迎も併用することで、患者の負担を減らす。

- ①新しい技術を活用し、医者の移動によらず診療ができる体制を構築する
- ②医療MaaS車両（マルチタスク車両）にて、鏡浦診療所を中心に患者の移送や自宅またはその付近に出向いた車内でオンライン診療を実施することにより、患者の診療機会を増加させる

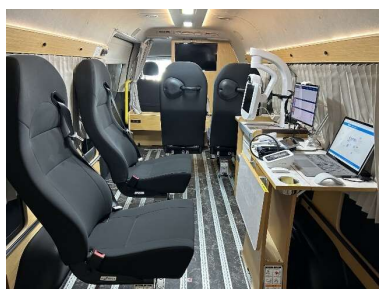


医療MaaS車両（マルチタスク車両）概要

利用用途に応じて工具無しに実施サービスに合わせレイアウトを可変できる車両。本実証では遠隔診療支援システムを活用し、車内でオンライン診療やバイタル情報の共有などを行う。



＜車両レイアウト図＞



＜車両内観＞

鳥羽市医療MaaS実証事業

○医療MaaS車両運行回数 73回（令和5年12月から令和6年6月まで）

・オンライン診療	19回	・患者さんの移送	43回
・オンライン服薬指導	3回	・薬の配送	3回
・往診	5回		

医療MaaS車両の運用パターン

オンライン診療・オンライン服薬指導等

①患者さん宅前まで行き、車両に乗り込んでオンライン診療等を実施



②人が集まりやすい場所に停車させ、車内でオンライン診療等を実施



③患者さん宅まで行き、オンライン診療とオンライン服薬指導を実施



患者等移送

④診療所に自力で来ることが難しい患者さんを移送



⑤医師と看護師を乗せて在宅診療、往診に利用

